

単
元
名

～動植物の分類～

動物の分類

教科書出版社名 (学校図書)

○ 中学校 (1) 年 教科等 (理科)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・様々な生物の共通点相違点、また、分類するための観点や基準を見出して表現する力

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・学校図書の情報とインターネットの情報を自身で整理し、必要な情報を選択する力

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…目的に応じて、正確な情報を学校図書とタブレット端末の双方を利用し収集する。

●整理・分析…課題解決に必要なものを調べ、タブレット端末のカメラ機能を利用し、整理する。

●まとめ・表現・発信…収集・整理した情報をもとに、動物の分類の基準を明らかにして表現する。

○ 学習の展開 (全7時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次	・動物のなかまわけクイズを行い、身の回りの動物を分類するための観点や基準があることを理解する。
第2次 ☆	・脊椎動物がどのように分類することができるかを考え、脊椎動物の5つのグループのそれぞれの特徴について理解する。 ・節足動物と脊椎動物を比較することで、その特徴を理解する。 ・アサリのからだのつくりを観察し、節足動物や脊椎動物との違いを理解する。 ・無脊椎動物には、節足動物や軟体動物以外にも多様な種類があることを知り、動物としての共通点を見出し理解する。 ・動物の分類の方法を学び、自分だけの図鑑をつくることで、それぞれの分類の特徴を理解する。
第3次	・仲間と協力して、様々な動物を分類するための妥当な観点や基準をつくり、動物を分類するフローチャートを作成し表現する。

(本時 6 / 7 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
動物の分類の方法を学び、自分だけの図鑑をつくることで、それぞれの分類の特徴を理解する。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	<p>1. 本時の図鑑作成の流れを確認する。(導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に班ごとに調べる動物の分類(魚類・両生類・爬虫類・鳥類・哺乳類・昆虫類・甲殻類・軟体動物・その他の動物)を確認する。 ・各班で決めた動物の分類の中から詳しく調べる動物を決める。 ・図書資料とタブレット端末の双方を利用して調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈調べるポイント〉</p> <p>①分類 ②生態 ③みんなに知ってほしいと思うこと</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習は、図書資料とタブレット端末を活用して進めるように説明する。 ・調べるのに必要な資料をタブレット端末のカメラ機能を活用して撮影する等、まずはたくさんの情報を収集するよう助言する。
35	<p>2. 情報を収集し動物図鑑にまとめていく。(展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットからの情報を収集する際は、一つのサイトで完結させるのではなく、複数のサイトを吟味して信用できる情報なのかを判断する。 ・情報を引用した文献・サイトを明記する。 ・必要な情報を収集するのに、適した媒体を判断し情報を収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物についての基本的な情報は、図書資料を活用し、正しい情報を収集するように促す。 ・インターネットを利用して情報収集する際は図書資料に掲載されているキーワードを、用いることで正確な情報を得やすいと伝える。
5	<p>3. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人振り返り 	

図書館活用ポイント

